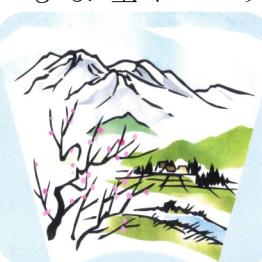


香港問題の理解を一步前に進める③

民主運動を「暴徒」視してはならない

香港の市民・学生による民主化運動への支援を考えるにあたつて、いくつかの問題を直視しておかなければなりません。その最大の問題は、市民学生によるデモ最中の商店、公共交通機関に対する破壊や「親中派」との衝突などに現れた暴力行為に対する批判の声です。



日本の70年代の学園闘争の際に一部の学生によつて「大学封锁」や学生相互の「内ゲバ」が繰り返され、民主化を願う学生が運動から離れたり、学園民主化運動への政府・治安当局の弾圧を招いた事実に照らして、「暴力の排除」ぬきに運動の発展はないと言張るのです。どのよう

うな運動にあつても

「暴力」は許されず、多数の声を基礎に平和的な対話をとおした解決が求められるのは当然です。

しかし、香港の市民・学生全体会を「暴徒」視したり、香港の市民・学生の運動を支持する前に「暴力」を戒めるべきと主張したりするのは、明らかに過ぎです。上に挙げたような暴力行為に走つているのは運動の中の少数の亜流であり、中国政府や香港行政当局の強権的行為や警察当局の発砲まで含む過剰取締への絶望的なあせりから生まれたものです。

運動の本流は、「一国二制度」の厳守を求め、「共同五大要求」

2020年6月「香港国家安全維持法」を香港立法府の審議も

可決もなく、大陸の全人代制度

ののみで強行、9月に予定されて

いた立法会選挙を延期、民主派

議員を資格剥奪と抗議辞職に追

い込み、さらに民主派

主要指導者の逮捕、

「国安法」による起訴

さらに中国映画鑑賞会、中

国茶を楽しむ会、漢詩、漢字

の学習、二胡や太極拳、広場

ダンスを通しての文化交流な

どなど。昨年延期となつた

企画も含め女性部の要求は盛

りだくさん！

今は命と心身の健康を守る

ことを最優先し、できること

を模索しつつ学習を重ねて英

知を蓄えていく時期です。

会員のみなさんと交流でき

る日を待ちたいと思います。

浅田美奈子

安定期のためのリーダー

に踏み切り、真正面か

ら「一国二制度」の破

壊行動に出たのです。

中国が世界の平和と

安定期のためのリーダー

に踏み切り、真正面か

ら「一国二制度」の破

壊行動に出たのです。

中国が